

国際会議 参加報告書

氏名	熊谷 翠
イベント名	preAM 2024, 夏の世界総会 2024, postAM 2024
日時	2024 年 7 月 27 日 - 8 月 12 日
開催地	フィンランド・ トゥルク、タンペレ
参加委員会	SCOPE Session
セッション内容 (委員会)	世界総会 Day1 “Welcome to SCOPE Sessions & EDI” 最初のダンスなどの軽い Activity の後、すぐ SCOPE plenary に移りました。委員会の plenary に出席できるのは各 NMO1 人という規則があったので、NEO-in の方に出席してもらいました。 Day2 “SCOPE Regulations101 & Exchange communication guidelines” 規約について詳しく説明があり、契約に関して知らなかったこともあったので参考になりました。 また、“Exchange communication guidelines”では、Exchange Office を支えてくださる方々がどうすればモチベーションを保ち続けられるかのディスカッションをしました。 Day3 “SCOPE D debate”, “Sharing is Caring” SCOPE Director の立候補者演説を聞き、VISA について説明を受けました。 今期の SCOPE Director 立候補者は 4 人で、1 人は現地で出席者の前で演説をし、残りの 3 人はオンラインで演説をしていました。 まず、立候補した理由やアピールポイントのスピーチをした後、提出された質問の中からピックアップされたものに答えていました。その後、その場で立候補者への質問を募り、答えていました。それぞれ質問に答える時間も決められており、長く答えてい

	る人は途中で打ち切られていました。 VISA の説明では、申請の上手な仕方について教わりました。日本のパスポートは強いので VISA 申請は不要であることが多く、申請の注意点など良く知らなかったなので、とても勉強になりました。 Day4 SCOPE Session はありませんでした。 代わりに Regional Sessions があり、Asia-pacific Region の NMO で集まり、宝探しゲームを行いました。その後、Regional plenary を行い、集合写真を撮りました。 Day5 “Closing and Blue Picture” 現 SCOPE Director など SCOPE の統括を担っていた方々の挨拶を聞き、集合写真を撮りました。 
セッション内容 (委員会以外)	【preAM】 TNRT(Training New Research Trainer)に参加しました。 研究や Trainer のやり方についての講義を Trainer の方々から受けました。グループワークが多く、世界総会より参加人数が少ないので他の参加者と仲良くなりやすかったです。既に他の Workshop を経験した方は質問を投げかけられた時に素早く返答していて自分の至らなさを痛感しました。また、世界総会や postAM と違って preAM の宿泊施設はずっと停泊していて使われなくなった船で、趣きはあるのですが、狭くてシャワーとトイレがすぐそばにあり、日本の衛生環境の良さを再認識しました。

【世界総会】

“Opening ceremony”

フィンランドで AM の企画・準備をしてくれた OC の方々の紹介やスピーチが最初にありました。その後、現地のダンス団体によるダンスを見たり、speksi というフィンランド発祥の観客参加型の演劇を見ました。speksi に関しては観客の声が聞こえづらく、何が起きているのか良く分かりませんでした。ダンスは迫力があり、見ごたえがありました。Opening ceremony の会場はクラブのようになっていて、色々な人と話す事ができて楽しかったです。



“preAM TNRT graduation session”

私は preAM にも参加していたので、TNRT graduation session で発表しました。本来 2 人で 90 分間の発表をするはずだったのですが、ペアの方が NMOp として世界総会中は忙しくなるとのことで辞退したので、1 人で 60 分の発表をすることになりました。発表のテーマを決められてから半日程度しか準備する時間がないのでとても大変でした。また、他の preAM の参加者は全員第一言語が英語でないにも関わらず、流暢に話し、プレゼンが上手だったのでとてもプレッシャーでした。準備時間が短いこともあり、完成度が低かったですが、海外の方の前で 60 分も英語で発表することは中々ないと思うので良い経験になりました。

“exchanges fair”

NEO-out として SCOPE の契約を各 NMO と締結しました。他の NMO はオリジナルのグラス、T シャツ、ペン、小物などを配っていて驚きました。IFMSA-Japan も何かステッカーの他にグッズを

作れたら良いなと思いました。ブースを出している NMO の中にはどのような留学体験ができるか説明したり、留学前の研修プログラムを設けたりしているところもありましたが、契約締結に時間をとられ、あまり聞けなかったのが心残りです。

“social”

毎晩 Session や Plenary 後に行われていました。

私は Closing ceremony に参加しました。

立候補した NMO による出し物が見られる、Cultural Night も参加したかったのですが、眠気に負けて寝てしまったので参加出来ませんでした。plenary が延長した関係から、Cultural Night が始まったのは夜中の 3 時だったそうなので頑張って起きていても参加は難しかったかもしれません。

“NFDP (National Food and Drinks Party)”

高校の体育館のような場所で行いました。様々な NMO のお菓子やお酒、ステッカーなどのグッズをもらうことができました。特にフィンランドブースのブルーベリージュースとブルーベリータルトが美味しかったです。パレスチナブースではステッカーなどのグッズを売っていて、集めたお金をガザ地区への支援金で使うと言っていました。日本ブースでは餅、抹茶キットカットが人気でした。

【Post AM】

トゥルクで行われました。

Day1

トゥルク城を観光しました。

Day2

フェリーに乗って Mariehamn まで行きました。フェリーはとても大きく、内装が豪華で感動しました。Mariehamn では、公共サウナを貸し切ってそこでバーベキューをしました。近くには海があり、サウナに入った後泳ぐことができました。ソーセージはベジタリアン用も用意しており、様々な方に配慮されていると感じました。

Day3

Museoship Pommern という船の博物館を見て、地元のパンケーキ

を食べるなど街の散策をしました。

全体を通して特に印象に残ったこと



フィンランドでは喫煙や飲酒をする場所が法律によって制限されており、度々AM参加者が注意されているのが印象的でした。空き時間に近くの湖で泳ぐ人を募っていて、自然を身近に感じました。

Sessionが朝早くからあるのに、Socialは夜中に始まり、ほぼ朝方まで毎日やっていて、意外と参加している人が多く、体力の違

いをひしひしと感じました。

私がフィンランドを出発した次の日にオーロラが見られたそうで、残念でした。次回訪れた時はオーロラも見たいです。